

ここが聞きたい！
いっぱん

質問

奥出雲町神話博実行委員会 設置の考えは

若月忠男 議員

町長 11月を目途に奥出雲町神話博
実行委員会を設立



問 神話博実施計画に係る取り組みとして、奥出雲町神話博実行委員会の設置についての考えは。

答 我が奥出雲町は、スサノオノミコトがおり立った鳥上の峰、船通山を有する、まさに神話のふるさとでございます。

奥出雲町の実行委員会につきましては、商・工あるいは観光の関係者だけでなく、自治会やNPO法人あるいは、地区文化協会などの各種の地域づくり活動団体、さらには教育関係者等幅広い

い参画を得ながら11月の中旬を目途に設立出来るよう、今準備を進めているところであります。イザナミ御陵であると言われる比婆山と、吾妻山を結ぶ広島県との連携事業の実施、さらにはスサノオノミコトの子であります、イソタケルノミコト

が我が国初の植林事業を行った紀伊の国との広域交流事業なども、是非検討していただきたいと思っております。さらには、鬼の舌震や三澤池など風土記ゆかりの舞台の活用もあり、幅広い皆さんの積極的な参画や、提言を期待しているところでございます。

問 奥出雲町らしい説明観光ガイドブックの作成と、配布の考えは。

答 テーマ性の高いモデルコースの設定などについて、実行委員会の中で具体的に検討していただきたいと考えております。また、神話の町である奥出雲町のシンボルデザインとして、ヤマタノオロチのモニュメントを島根県の玄関口である、三井野原地内に県の協力を得ながら設置することにも、それぞれの立場でご理解と、ご協力をお願いしたいと思っております。

問 神話博について雲南エリアの取り組みと、奥出雲町の取り組み状況は。

答 舟木観光推進室長

3市町の行政、観光協会、商工会、JA雲南、旅行業の取得業者、さらに雲南広域連合による神々の国しまね雲南地域実行委員会が設置されており、さまざまな観光誘客に向けた推進事業が展開されております。広告宣伝活動では、特に東広島方面への情報発信を強化しております。奥出雲町では神話ガイド養成講座を昨年に引き続き開催したり、奥出雲太鼓祭り等各種のイベントの展開で県内外からの誘客の考えです。

問 滞在型の観光案内を充実する考えは。

答 私も全くその通りだと思っております。町内には温泉施設があるわけですので、さまざまな地域資源がたくさんあり、数日、あるいは一週間ベースキャンプしながら、探訪出来る仕掛けも必要と思っております。大体平成26年には観光PR等に向けての基盤整備がほぼ出来ると考えています。

問 外国との交流・連携強化については。

答 特に、韓国からのお客様の誘致はすでに実績があり、中国、台湾あるいはアジア圏、ヨーロッパ、アメリカ等からも神話と、古代のハイテク技術が今に生きている、たたら製鉄を世界遺産登録を目指すべきと言う意見を頂いており、更に情報発信をしていきたいと思っております。町民の皆さんとともに、取り組んでいく大きな課題だろうと思っております。